

市議会だより



きたあきた

No. 56

平成30年3月31日発行

3月定例会

- 今定例会の審議 2
- 議案等表決状況／賛成・反対討論 3
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問 6～10
- 臨時会／議会全員協議会／請願・陳情 ... 11
- 市民の声／人事案件／あとがき 12

贈

昭和五十八年度
合川中学校
卒業生（同）

思い出を胸に
大きく羽ばたけ！

～ 合川中学校卒業式 ～

平成30年度 一般会計予算



227億6549万7千円を原案可決



すべての議案が原案のとおり可決、採択、同意された3月定例会

平成30年北秋田市議会3月定例会は、2月13日（火）から2月27日（火）までの15日間の会期で行われました。今定例会では、条例案14件、予算案41件、指定管理者の指定など単行議案29件、最終日に追加提案された発議案などを含めた89件が審議されましたが、それぞれ可決、採択、同意されました。

今定例会の主な議事

- 空家等の適切な管理に関する条例の制定
- 介護保険条例の一部を改正する条例の制定
- 森吉山ぶな帯野営場施設条例の制定について
- 平成30年度一般会計予算
- 平成30年度特別会計予算
- 平成30年度病院事業会計予算
- 平成29年度一般会計補正予算
- 工事請負契約の締結について（北秋田市し尿処理施設建設工事）
- 指定管理者の指定
- 教育委員会委員の任命
- 人権擁護委員候補者の推薦など

歳入歳出の総額

平成30年度一般会計予算案は、歳入歳出それぞれ227億6549万7千円とするものです。

主な予算

- ▽議会映像配信システム導入委託 928万1千円
- ▽防災ラジコ購入事業 2億2935万4千円
- ▽特定空家等解体撤去事業費補助金 200万円
- ▽し尿処理施設建設工事請負費 3億4502万8千円
- ▽結婚祝い金 200万円
- ▽高校世代までの医療費助成 1800万円
- ▽キャラクターを活用したセールスプロモーション事業

介護保険料引き上げ賛成多数で可決

介護保険料は、月額5800円を6460円（基準額）に引き上げるもの。全体で、年1億3000万円ほどの増額になります。

最終日の本会議においては、賛否が分かれ、それぞれの立場から討論を行い、起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

なお、討論が行なわれた議案については、次ページのとおりです。

ン事業 2890万6千円
などが計上され、原案のとおり可決されました。

平成30年度一般会計予算に計上された「キャラクターを活用したセールスプロモーション事業」をめぐっては、賛否が分かれました。

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議案名	採決結果	緑風・公明				みらい				共産党議員団		清和会		新創会		無党派					
		関口 正則	堀部 壽	武田 浩人	小笠原 寿	佐藤 光子	大森 光信	黒澤 芳彦	中嶋 洋子	庄司憲三郎	松橋 隆	板垣 淳	久留嶋 範子	三浦 倫美	吉田仁吉郎	山田 博康	長崎 克彦	佐藤 重光	佐藤 文信	松尾 秀一	福岡 由巳
【平成30年3月定例会／平成30年2月27日採決】																					
議案第5号 北秋田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	-	●
議案第16号 平成30年度 北秋田市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	-	●
議案第19号 平成30年度 北秋田市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	-	●
議案第37号 平成30年度北秋田市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	-	●

※全会一致の可決、採択については除いています。

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、議長は採決には加わりません。

賛成・反対討論

※発言順に掲載しています

▼議案第5号

反対討論 久留嶋範子議員

市民から生活が大変だとの声が上がっている中での上上げ。市のアンケートでも「サービスは我慢するから保険料上げないで」の回答が7割。「市民ファースト」と言うのなら住民説明会を開くべき。

賛成討論 佐藤文信議員

値上げの大きな要因は、国の制度改正が大きい。平成29年度市の基準保険料は秋田県内20団体、広域2つの上から13番目ですが、健康寿命を伸ばす介護予防政策を推進することが重要であります。

反対討論 福岡由巳議員

議案は「第7期介護保険事業計画」に基づき今後3年間の介護サービス費を推計した定めとなっている。肝心の事業計画を示さないまま、介護保険料基準月額660円の大幅引き上げは市民が納得できるものでなく反対する。

▼議案第16号

反対討論 板垣淳議員

福祉サービスを前年度より減らし、一方で効果が不透明なキティに3000万円。予算の使い方が間違っている。キティシールを1枚7500円や1万6000円で買うのは無駄使いだ。

賛成討論 大森光信議員

戦略的な投資もあり、費用対効果を懸念する声もあるのは事実だが、市長の不退転の気持ちの表れである本予算に賛成する。市民の理解を求めないのであれば、しっかりと結果を出さなければなりません。

反対討論 福岡由巳議員

予算案は前進面があるものの、基盤産業である農林水産業予算が対前年比3億円減は余りにも大きい。コメ以外の農業や地場産業としての林業政策を強化すべきである。他に介護保険料大幅引き上げ等により賛成できない。

▼議案第37号

反対討論 三浦倫美議員

医師確保の新しい取り組みがないまま前年度比負担増。県内の厚生連病院9つに地元自治体がそれぞれ補助しているが、そのほとんどは1億円。当市の7億6000万円は突出している。改善を。

賛成討論 武田浩人議員

今予算は純損失が約3億1400万円の見込みですが、医療収益がない会計ですので減価償却分が損失となります。しかし、これまでも資金不足は生じていないので今後も問題は無いと判断します。

反対討論 福岡由巳議員

監査委員の意見書では「医師不足の解消と指定管理料の低減化」を指摘し続けているが当局の努力の跡が見えない。指定管理料は9千万円の納付額もあることから問題の基本協定等を早急に改正することを求め反対する。

で議案を審査

3月定例会

総務文教常任委員会

北秋田市 空家等の対策

当委員会に付託された案件は、条例案5件、予算案18件、単行議案3件の計26件。
北秋田市空家等の適切な管理に関する条例について「空家は増えており、いろいろな問題が生じているが、市独自の対策と所有者の同意が得られないため、非常に危険な空き家があると思うが、協議会は定期的開催するのか」との質疑があり「空家等対策協議会でさまざまな議論をしており、30年度では協議会にかける段階で、どの程度の空家なのかという状況を明らかにし、速やかに法で規定している手続きに入るため、空家の実態調査の実施を考え、必要であれば行政代執行等の手続きに進むにあたって随時開催することになる」との答弁がありました。



空家対策を

議会のインターネット 中継の導入

平成30年度一般会計予算では「議会のインターネット中継の導入時期は、何月議会かを予定しているのか。市民への周知方法は」との質疑があり「試験放送で問題がなければ年内の12月定例会から本格配信を予定している。周知に関しては、基本的には議会報や市議会のホームページを活用するが、他の方法も模索していきたい」との答弁がありました。

防災ラジオに関して「先行試験配布が終わっていない、試験送信等の結果も出ていない状態で、本格配付用の購入予算の計上で、もっと余裕を持ったスケジュールは出来なかったのか。防災ラジオが配布されない地域に関して、今後どう対応していくのか」との質疑があり「先行試験配布は、2月末の納入を予定し、森吉山の送信局、各庁舎の配信局と連動させる関係で、時間を要している。30年度に1万3000台購入予定であり、納入まで半年以上かかるため、

遅滞のないように進めたい。阿仁の一部地域では、現時点で電波が弱く、ラジオを配布しない所があるが、当面は現在使用している防災個別受信機を使用し、平成34年1月1日のアナログ送信終了前には同じ条件で送信できるように準備する」との答弁がありました。

キャラクターデザイン制作委託について「子どもに夢を与え、交流人口の増加を狙いとし、このプロモーションを複数年続けたいとあるが、総額3000万円近くなることであり、年度区切りで事業内容について検証する必要がある」との質疑があり「3000万円のうち、一度作成するのと2、3年使えるものもあり、できるだけ経費をかけないよう、さまざまな部門で使用していきたい」との答弁がありました。

付託された議案についてはすべて原案のとおり可決すべきと決しました。
(委員長 佐藤 重光)



3つの常任委員会

市民福祉常任委員会

第7期介護保険計画スタート

当委員会に付託された案件は、条例案5件、予算案17件、単行議案7件の計29件。

北秋田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について「低所得者層に配慮した保険料算定の仕方がもっとあってもよかつたのではないか」との質疑があり「低所得者層の部分为国の基準よりも若干下げているが、上位の所得者だけでは人数が足りず、その分をカバーすることができない難しい状況。市民の気持ちは承知しているが、さまざまなパターンを想定して今回の形になった」との答弁がありました。採決にあたり「保険料を上げないことや、上げ幅を小さくする努力が十分とはいえず、当局の準備不足は明らか。住民説明会を開催しないとする経緯にも疑問がある」との反対討論があり、また賛成討論として「国の抜本的な制度改正を踏まえると今回はやむを得ず、国の基準よりも緩和されている部分も

あり、今後は介護保険料を抑えていく努力をするべきと考える」との討論があり、賛成多数で原案のとおり可決すべきと決しました。

その他の議案は、平成30年度一般会計予算所管分、介護保険特別会計予算、病院事業会計予算の3件を賛成多数で可決。それ以外を全会一致で可決すべきと決しました。

(委員長 小笠原 寿)



介護保険事業計画 (素案)

産業建設常任委員会

比内地鶏素雛購入に補助

当委員会に付託された案件は、条例案4件、予算案10件、単行議案19件、陳情1件の計34件。

平成30年度北秋田市一般会計予算の農林課関係では、比内地鶏素雛購入費補助金に関して「市としてどこまで関与していくのか」との質疑があり「しっかりと経営販売状況を確認していきたい」との答弁がありました。

都市計画課関係では「キャラクター企画ということで、米代児童公園に電飾設置委託等合わせて730万円となっているが、狙いと効果についてどのように考えているのか」との質疑があり「児童公園が一番利用されているというところもあり選定した」との答弁がありました。採決にあたり、キャラクターを活用した事業について「そこにお金をかけるなら、市民が必要としている道路修繕、農林業振興等に使うべき」との反対討論と「夢のある市とそれを産

業にも生かしていきたいということであり、すばらしいものに仕上げしてほしい」との賛成討論があり、採決の結果、平成30年度一般会計予算所管分は賛成多数で原案のとおり可決すべきと決しました。その他の議案は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきと決しました。

陳情1件については、全会一致で採択すべきと決し、意見書を提出することといたしました。

(委員長 庄司憲三郎)



米代児童公園に人気キャラクター遊具設置

市民サービス向上に向けて



佐藤 光子 議員 (みらい)
〔一問一答方式〕

問 人事評価制度を実施して職員、職場、そして本市にどのような効果を期待するか。

答 「我が街」を良くしたいという気概を持つ元気な職員が育つことを期待している。職場の活性化と組織自体の成長により、最終的には市民サービスの向上に生かしていくことが目標。

問 本格的な導入に向けた考え方について。

答 地方公務員法において、評価結果を任用・給与・分限・その他の人事管理の基礎として活用すると規定されているため、今後は法に規定される運用を検討する。

問 職員の希望に配慮

した異動となっている。職員の適材適所の把握についてどのような方法で行っているか。

答 所属部長、課長等からのヒアリングにより、課や係の課題や人的配置などの意向を確認しながら行っている。

問 職員の異動希望や、現状把握として意向調

査を毎年実施すべきではないか。

答 人事評価システムの中で、評価者と被評価者との間に面談が行なわれるので、そこで職員の能力開発や配置と異動、メンタルヘルスなどの現状把握に努める。

議員：自動車免許取得に助成 市長：今後検討する

問 地元就職・定住促進として、地元就職する高校生等に対し、自動車普通免許取得に係る教習料金の一部を対象とし助成できないか。

答 地元就職の確認や学校の教育方針等の様々な課題もあるため、それらを整理しながら今後検討する。



自動車免許取得に助成を

山林田畑を生かす市政に



福岡 由巳 議員 (無会派)
〔一問一答方式〕

問 市長は「人口減少時代の挑戦」を市政運営の指標としているが、その政策の目玉は何か。また、現在それをどのようになされているか。

答 各課が横断的に人口減少対策に取り組み、同時に当市の魅力向上につながる各種個別の事業に鋭意取り組んでいる。

問 本市は山林と田畑でほとんどの面積を占めていることから、地方再生からしても基盤産業である農林業の振興を重視すべきと考えられている。平成30年度農林水産業予算は10億7千万円、前年度比3億円減である。園芸メガ団地以外、独自に強力な政策を打ち出せないか。

答 小規模農家に対するさまざまな施策も提言している。農家の方々も大変厳しい状況にあるが、農家が集落からいなくなると集落維持も難しくなる。まちづくり、地域づくりのために農業振興にもしっかりと取り組まなければならないと思っ



全分野の農林業振興を

議員：若い女性の正規雇用を 市長：その気持ちは一緒である

問 林業について、本市の貴重な資源である秋田杉は、連日市外へ搬送されている。搬送料が高く林家の収入は非常に少ない。この秋田杉も地場産業として雇用も期待できる超小型バイオマス発電機の導入は組立工場まで誘

問 本市の少子化対策については、若者の雇用拡大と大幅な処遇改善が求められる。現在不足していると考えられる介護福祉士、保育士、

致しながら活用しない手はないはず。具体策はどうなっているか。

答 本市は森林が周囲に沢山あり、地産地消で燃料のチップが格安に入れば良いが、具体策は模索中である。

看護師は圧倒的に若い女性が多いことから正規雇用の具体策に欠かれないのではないか。

答 その気持ちは一緒である。

農業の振興対策



長崎 克彦 議員 (清和会)
〔一問一答方式〕

を強化していく。成長産業化については、森林資源の活用、国産材の自給率向上、雇用拡大等を可能にしたいと考えている。

問 森林環境税（仮称）の効果と行政の役割についての考えは。

答 地球温暖化の防止、災害防止、国土保全、

問 平成30年度産米の生産の（目安）配分と、過剰生産を無くするための施策については。

答 生産の目安を1万6千トンと設定する。重点作物、青果物の種苗代等への助成を実施し作目の誘導を行う。

問 新規雇用した場合は支援については。

答 人材の確保が困難になってきていると認識しています。市雇用促進交付金で年10万円を交付する。

問 林業の経営計画と国指定を受けた林業の成長産業化の構想については。

答 経営計画策定済みは面積の33%、約1万3千ヘクタール。今後

も森林組合等との連携

を強化していく。成長産業化については、森林資源の活用、国産材の自給率向上、雇用拡大等を可能にしたいと考えている。

問 森林環境税（仮称）の効果と行政の役割についての考えは。

答 地球温暖化の防止、災害防止、国土保全、

憲法をしっかりと守って



板垣 淳 議員 (共産党議員団)
〔一問一答方式〕

水源涵養等の機能を発揮させるため、間伐等の森林整備及び促進に対する費用に充てる。

問 林業大学校へ県北からの入学生が少ないその対策については。

答 通学に要する費用にあるとすれば、今後検討したい。

問 安倍政権は改憲を狙っているが、首相や国会議員、市長や地方議員を含め、すべての公務員には憲法を守り擁護する義務が課せられている。市役所職員を採用する際に憲法を守ることを宣誓させているのか。

答 地方自治法と当市の条例でもそれを定めており、宣誓させている。

問 市職員が働きがいを持つことは市民サービスに直結することなので、それが向上することを願う質問する。一人ひとりの能力と業績を評価する「人事評価制度」が導入されるが、人が人を評価するのは難しい。公平にやらないと職場が混乱する。職員が萎縮するよ

うな仕組みではなく、能力と意欲が発揮できるような仕組みにしたい。

答 客観性、納得性、公平性を確保し、市民サービスの向上に生かせるようにしたい。

問 非常勤職員の待遇を改善すべき。とりわけボーナスは支給すべき。

答 法律が改正されて平成32年度から支給できることになったので検討する。

問 非常勤とはいっても保育園、給食センター、除雪など市の業務にとって必要な職務であり、本来なら正職員として採用しなければならぬ人たちだ。平成32年度を待たず待遇改善すべき。

答 ボーナスは法律上平成32年度まで支給できないが、それ以外の待遇改善については検討したい。

議員：深関の道路と側溝整備 市長：関係者と協議し整備する

問 深関地区の道路舗装と側溝整備と綴り一

通り地内の整備計画は。

答 市道認定が前提で

土地所有者、沿線住民等の皆様と協議しながら整備計画をする。一

通りについては、当面は部分補修で対応しながら整備検討する。30

年度予算化もしている。

問 岩石の許認可を当市で実施すべきと考えるが。

答 県から毎年意向調査の依頼がありますが、山岳地帯での形状変更

や破碎選別施設、防災関係などの専門知識が必要であり、職員の配置が困難である。



深関の道路「砂利道・側溝」

議員：非常勤職員の待遇改善を 市長：改善に向け検討したい

問 ケアタウンについて聞く。無償譲渡するにしても有償譲渡するにしても実際の価値である不動産鑑定価格は把握しておくべきでないか。

答 施設を民営化する際に、その実施の可否も含めて検討する。



不動産価格が不明のケアタウンたかのす

七日市地域の活性化は



久留嶋 範子 議員(共産党議員団)
〔一問一答方式〕

問 日沿道大館能代空港ICが開通になるが、それに伴い七日市工業団地の利活用はどのように考えているか。

答 利便性が格段に向上することから企業誘致、移転の候補地として紹介してきた。今のところ企業とのマッチングに至っていない状況。今後も継続したい。

問 かつて工業団地として市で買上げた土地(根木屋敷)の管理について今後の対策は。

答 ご指摘のとおり適正に管理されていない時期もあり、今後も管理に努めていきます。

問 南小校舎を学校統廃合後、地域住民の意見を取り入れ有効活用

できないか。

答 両小学校の廃校後の利活用については、両校舎ともに耐震補強済みであることから、今後地元自治会等の意見を聞いて検討したい。

問 昨年4月から各公民館の使用料がコムコムと同一料金になり、利用者から大変ありがたいと喜ばれています。

答 引き続き利用しやすい公民館にするためにインターネット回線、AEDの設置を。

問 各館でのネット環境整備は、回線導入によるランニングコストが掛かり増しになることから、慎重に検討する必要がありますか。

答 AED未設置の公民館は今後検討していきたい。

議員：輪転機使用のその後 教育長：無料で利用のルール作る



統廃合になる鷹巣南小学校

問 輪転機の使用はその後どうなったのか。

答 市民の方から、以前のように使用させてほしいとの要望が出されています。

問 輪転機の使用のあり方に関して、所管する関係各課で協議してきましたが、これまでの経緯があるため、市全体で統一することは困難な状況です。教育委員会としては、一定の制限を加えながらも

無料で利用していただくルールを策定したいと考えています。

免許返納者に優遇制度



武田 浩人 議員(緑風・公明)
〔一問一答方式〕

問 免許証を返納した申請者に対して指定の公共交通の運賃が割引となる回数券などの発行を検討してください。

答 「地域公共交通網形成計画」の策定に向けた市民アンケート調査におきましても、免許返納を検討している方と免許返納後のサービスへのニーズが少なくないことから、交通手段の確保と合わせて免許返納者への割引運賃などの支援制度についても計画に反映し、他の団体等の状況も調査しながら検討を重ねることとしています。

問 その中でも乗合タクシーについては利用料金の半額助成をするなど、思い切った施策

をぜひとも検討していただきたいです。

答 少子高齢化が進む中で免許返納者と併せて高齢者への助成については、割引制度を行っている事業者や利用者の状況などを調査するとともに、他の自治体の例も参考にしながら検討していきたいと考えています。

問 敬老式への参加について、旧鷹巣町の一部の集落では送迎者の確保が困難なため対象者が毎年輪番制で代表の方が参加していると聞きました。その際に申請があれば送迎バス等の運行は可能なのか検討してください。

答 合川・森吉・阿仁の各地区では、一つの会場で敬老式を開催していることもあり、送迎バスを運行していますが、鷹巣地区では家族や婦人会、自治会等に送迎のご協力をいただき、7つの会場で地域に密着した形で開催しています。送迎者の

議員：敬老式での送迎バスは 市長：婦人会等と協議します



敬老式への参加者増に期待します

問 敬老式への参加について、旧鷹巣町の一部の集落では送迎者の確保が困難な地域があるとのことですが、鷹巣地区のバス運行については、会場の見直しや運営方法なども含め婦人会等と協議しながら、検討して参りたいと考えております。

教育留学の展望



三浦 倫美 議員 (共産党議員団)

〔一問一答方式〕

議員：教育留学事業の周知を

教育長：広報・HP等も活用

問 北秋田市が「教育留学」など多様な教育事業に取り組む根底に「あらゆる子どもたちを温かく見守り、可能性を引き出す姿勢」すばらしい教育理念があるからこそと思います。「あきたリフレッシュ学園」が県事業として継続が困難になった時も「不登校や引きこもりなどの子どもたちが北秋田市の自然の中で体験活動で心も体もリフレッシュする大切な場」として運営してきました。継続可能にした要因は。

答 平成27年度を最後に県教育委員会として予算措置は無くなり

ましたが、人的支援の継続で平成28年度から市単独事業として運営平成28年度までに89人在籍し、学校に復帰、または高校進学を果たした児童は、開園時25%。その後は年度により74%から94%と高い復帰率です。

問 教育留学の周知を。

答 平成28年度から県教育委員会の委託を受け実施。合川学童研修センターで年間を通して行う「オーダーメイド留学」と夏休みや冬休みを利用して行う「短期チャレンジ留学」の二種類。いずれも宿泊先の合川学童研修センターから通学可能な合川小学校、合川中学校での授業や休日の体験活動等を通して、本市に興味や関心を持つてもらおうことで、将来的な移住先等に結び

付けることを目指して取り組んでおります。北秋田市の教育の質の高さ（児童・生徒同士が互いに発言し合う力等）を求めて来る留学生は、リピーターに なったり保護者からも「家の手伝いをするようになった」と好評。地元の子どもたちも人間関係が構築され、民泊など地域とも連携し移住への可能性も拡がっています。



短期チャレンジ留学

J A合併後の支援策は



佐藤 文信 議員 (新創会)

〔一問一答方式〕

農協が停滞する状況にならないよう、両農協やJA中央会とも連携を密にして参ります。

議員：健康寿命を伸ばすには

市長：健康ポイント制度を

問 将来的に阿仁支所の用地を取得し、観光拠点として活用する考えについて伺います。

答 参考意見として聞かせていただきます。



J A 阿仁支所

問 JAあきた北央は自己資本比率が、信用事業を行う上での基準8%を下回り、農林中金から信用事業を譲渡するから早期に合併するかの選択を求められています。もし、合併が成立しなければ基幹産業の一つであります農業に甚大な影響が生ずることは明らかであります。市でも合併後を見据えた支援策について伺います。

答 あきた北央農協では信用事業の継続が困難な状況となっており、その救済を目的として鷹巣町農協との吸収合併に向けた動きがあります。合併により当市の

問 県では健康寿命日本一を目指す指標の中の一つに、メタボ健診実施率を70%に目標を設定し、達成に向けてポイント制度を県内の自治体に普及を図るとしてありますが、当市での取り組みについて伺います。

答 第2期けんこう北秋田21計画に掲げた目標の着実な履行と健診や健康づくり教室への参加促進を図るための施策として、健康ポイント制度等の導入検討

を図りながら受診率等の向上につなげたい。

問 耐震化に積極的自治体を対象に一度の申請で100万円を定額補助することで費用の見通しが立てやすく事務負担を減らすことができる新制度推進について見解を伺います。

答 耐震化は重要な課題と認識しており、新制度はより利用しやすい制度と考えており推進に取り組んでいきます。

第1回臨時会

第1回臨時会が1月11日に開かれ、在宅複合型施設「ケアタウンたかのす」の指定管理者の指定の議案1件が上程されました。

指定管理を1年継続

在宅複合型施設「ケアタウンたかのす」については、昨年10月10日に開催した議会全員協議会で、当局から「運営法人等は公募とし、建物及び備品は無償譲渡、土地は無償貸与（20年間）でその後は市と再協議する」と方針を示していました。

これに対して議員から無償譲渡に反発の声が相次ぎましたが、その3日後に方針通り無償譲渡を条件に移管先の公募を開始したことから、議会側は「議会軽視」として、市長へ「市有財産の民営化移管条件の再考および議会対応に関する申し入れ」を文書で提出。これを受け、当局は移管先の公募を一時停止するとともに、昨年11月9日に再度議会全員協議会の開催を要請しました。

当局からは、無償譲渡とした理由について説明がありました。これに対して議員からは「合意がなかったにも関わらず、3日後に

無償で公募を開始したことは議会軽視そのものである」また「指定管理を実施しても、無償譲渡にしても、市の持ち出しを考えると市の判断はベストではないか」などの意見が出され、津谷市長は「さまざまな意見を踏まえながら判断していきたい」として理解を求め、昨年11月20日、市は「来年度からの民間移管について見送ることとした」と表明し、今後の運営については「早急に方針を明らかにし、市議会に諮りながら進めていきたい」と考えている」としました。

今回の議案は、指定管理者の管理運営期間を平成30年4月1日から平成31年3月31日までとし、指定管理者に社会福祉法人北秋田市社会福祉協議会を指定する内容で、公募による時間的余裕がないため現在の指定管理者を候補者として指名し選定したものです。

議員からは「今後の民間移管に向けた具体的な作業はどのように想定しているか」などの質疑があり、津谷市長は「時間をかけながら、今後の民営化にあたっての考え方を丁寧に説明していきたい」と答弁がありました。

起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

議会全員協議会

北秋田市議会全員協議会が1月11日に開かれ、阿仁診療所建設計画について協議しました。

阿仁診療所建設地
個々の考えで

昨年12月19日に開かれた議会全員協議会で、市は老朽化が進んでいる阿仁診療所の建て替え計画について、最終的に現在地での方向で検討していると説明がありました。

市議会では、2015年3月に「開発センター跡地」への建設を求める陳情を全会一致で採択した経緯があり、議員から「議会としての対応を整理すべき」とし、議員のみで議会全員協議会が行なわれました。

議員からは「昨年10月末に意見交換会が実施されたようで、当時陳情を出した方々の中にも現在地でも良いと了解されたことが一番重みがあるのではないか」「採択したことは決して間違いではないと思うが、あれから3年経って、現時点で状況が変わったとすれば、議会も柔軟に対応していいと思う」などとする意見が相次ぎ、関連議案が提出された場合、陳情の採択に拘束されることなく個々の考えで投じるとしました。

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 渋谷 一 秋田県労働組合総連合 議長 三浦 宣人	採択	提出

『市民の声』



鷹巣婦人会
会長 佐藤 フサ さん

婦人会は、行政への奉仕団体として活動しております。議会傍聴には、最初、仲間

に誘われ会員と共に緊張しながら傍聴したことが思い出されず。傍聴席に制限がありました。議員対当局とのやり取りを真剣に聴くことができました。多くの市民にも傍聴をお勧めしたいです。

議会報告会へは、会員数名で参加します。議員の方々より活動報告があり、それに対する質問等があり、何より議員さんとの距離感が身近に感じられ、大変良いことと思いましたが、議員さんも市民と対話する良い機会と思えました。

日沿道も全線開通に向けて、着々と進んでおります。街の中心地も空き家が目立つようになり淋しく感じます。益々進む少子高齢化社会の中、新年度に向け、若者の転出者が増えますが、必ず安心して帰られるよう、活気と温もりのある街づくりを願っています。これからは活力ある地方創生に向け、市が発展して下さることを心から期待いたします。

皆様の「声」を募集します！

※市議会では、市民の皆様への関心と、より身近で親しみをもっていたくような議会報の取り組みとして、「市民の声」を掲載しております。
また、開かれた議会を目指しておりますことから、皆様には議会の傍聴を議員一同、心よりお待ちしております。

人事案件

教育委員会 委員の任命

◎教育委員会委員

藤本 基子 (新任)

人権擁護委員

候補者の推薦

◎人権擁護委員

石田 テル (再任)
松橋 幸子 (再任)
佐藤まり子 (再任)
白沢 俊孝 (新任)
志伯 悦雄 (新任)

「光陰矢のごとし」のようになんだか終わってしまった。市民の皆様が議会の様子が伝わったのかはまったく自信がない。それでも研修を重ねかねり改善できた。教訓は「議会が活発になれば誌面も豊かになる」ようだ。

(委員長 福岡 由巳)



ご愛読ありがとうございました

編集委員として、あつと
いう間の4年間でした。
「議会の様子を分かりやすく」をモットーに、市民と議会をつなぐ議会だより作りに取り組んできました。今後も市民の皆さんに開かれた議会であらいたいと思います。

(副委員長 久留嶋 範子)

苦労した表紙写真(平成26年8月発行)「八幡宮綴子神社例大祭」の子ども達の姿。29年度芸能の舞台上で成長した姿を観た時は感無量。4年間の歳月を思った。

(委員 三浦 倫美)

議会の様子をできるだけ分かりやすく、今何が議論され何が問題か詳しく限られた紙面で編集に努めて参りました。これからも誰もが読める議会広報でありたい。

(委員 吉田 仁吉郎)

今後の新しい委員による議会だよりの更なる進化に期待します。最後に市民の皆様へ4年間のご愛読の御礼を申し上げます。ありがとうございます。

(委員 武田 浩人)

市議会の活動を多くの市民に届けるため、限られたスペースの中で常に改善をしながら市民に愛される広報編集に関わってきました。

(委員 長崎 克彦)